平成29年度　第3回　緩和ケアを学ぼう会アンケート　結果

◆日時　平成30年3月6日（月）　18：30～20：00　　◆会場　荘内病院　3階　講堂
◆参加人数87名　　◆アンケート協力者82名　（回答率94％）

【内　容】　1.　事例・取り組み紹介

①「自宅での独居生活を望む胃がん末期男性の介護事例」
永寿荘居宅介護支援センター　主任介護支援専門員
齋藤　仁一　氏

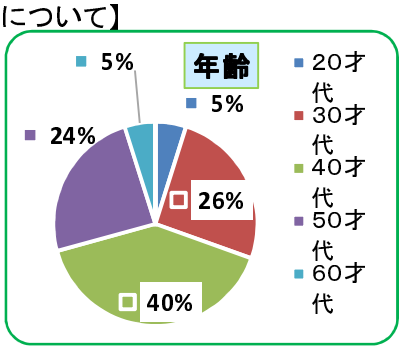
②「虹の家こころ　こころの看取り事例報告」
虹の家こころ　こころ主任・介護福祉士
小林　俊　氏

2.　講義「高齢者のエンド・オブ・ライフケア」
介護老人保健施設　みずばしょう
療養課課長・看護師　　工藤　由美　氏

【1. あなたご自身について】

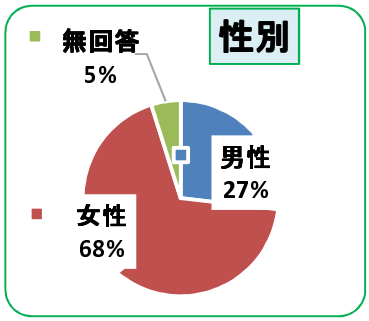
【年齢】

20代	4
30代	21
40代	33
50代	20
60代	4
70代以上	0
無回答	0
	82



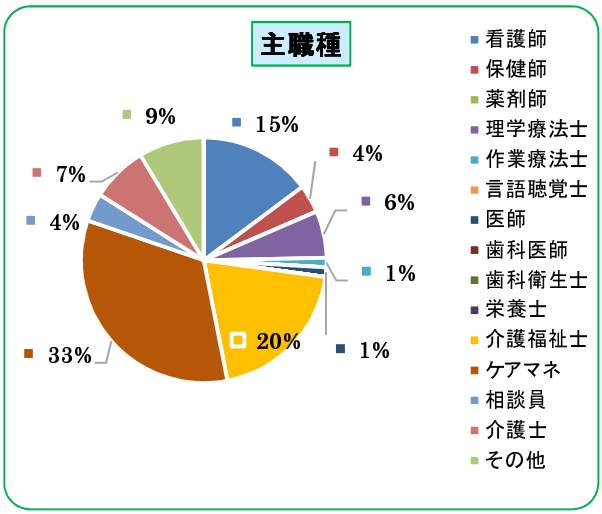
【性別】

男性	22
女性	56
無回答	4
	82



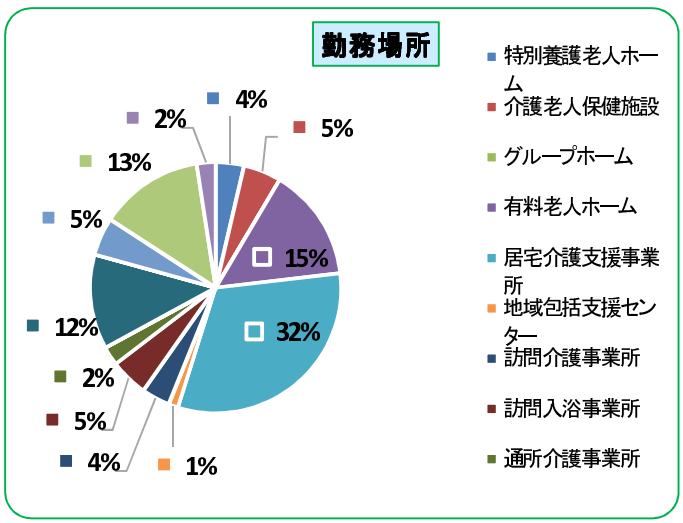
【参加者の主職種】

看護師	12
保健師	3
薬剤師	0
理学療法士	5
作業療法士	1
言語聴覚士	0
医師	1
歯科医師	0
歯科衛生士	0
栄養士	0
介護福祉士	16
ケアマネ	27
相談員	3
介護士	6
その他	7
無回答	1
	82



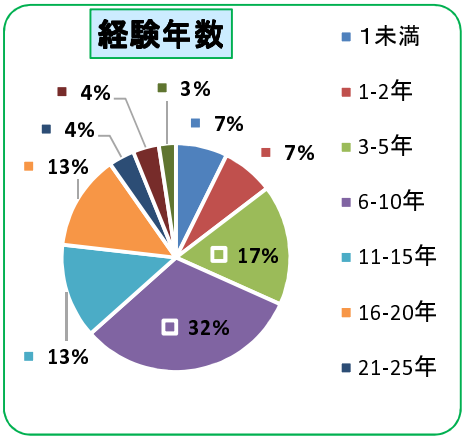
【勤務場所】

特別養護老人ホーム	3
介護老人保健施設	4
グループホーム	0
有料老人ホーム	12
居宅介護支援事業所	26
地域包括支援センター	1
訪問介護事業所	3
訪問入浴事業所	4
通所介護事業所	2
短期入所事業所	0
病院	10
診療所	0
訪問看護ステーション	4
保険調剤薬局	0
その他	11
無回答	2
	82



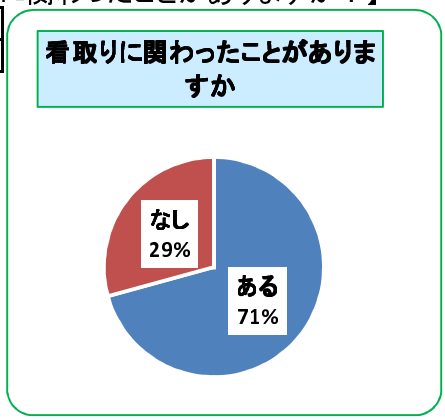
【経験年数】

1年未満	0
1-2年	12
3-5年	14
6-10年	26
11-15年	11
16-20年	11
21-25年	3
26年以上	3
無回答	2
	82



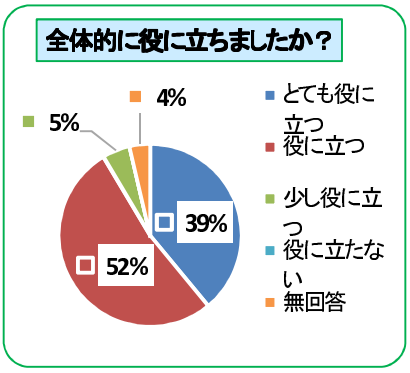
【2. 看取りに関わったことがありますか？】

ある	58
なし	24
	82



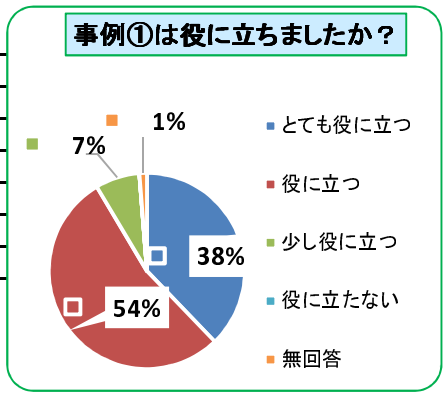
【3. この研修会は、
全体的に役立ちましたか？】

とても役に立つ	32
役に立つ	43
少し役に立つ	4
あまり役に立たない	0
役に立たない	0
無回答	3
	82



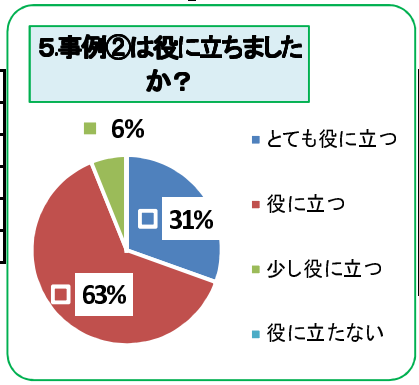
【4. 事例①「自宅での独居生活を望む胃がん男性の
介護事例】は役に立ちましたか？】

とても役に立つ	31
役に立つ	44
少し役に立つ	6
あまり役に立たない	0
役に立たない	0
無回答	1
	82



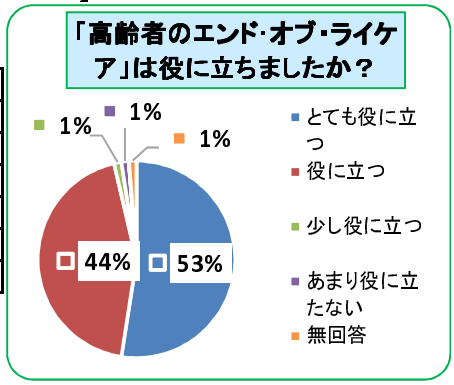
【5. 事例②「虹の家のこころの看取り事例報告
は役に立ちましたか？】

とても役に立つ	25
役に立つ	52
少し役に立つ	5
あまり役に立たない	0
役に立たない	0
無回答	0
	82



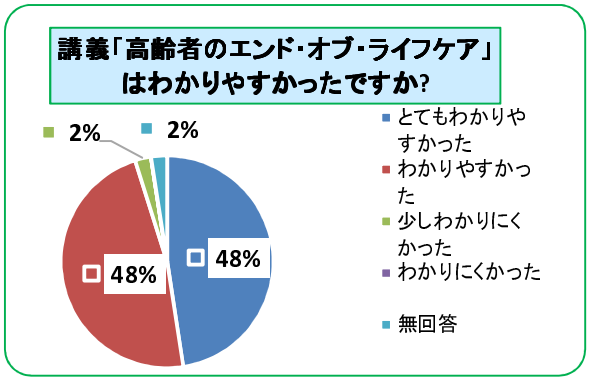
【6.講義「高齢者のエンド･オブ･ライフケア」は、
役に立ちましたか？】

とても役に立つ	43
役に立つ	36
少し役に立つ	1
あまり役に立たない	1
役に立たない	0
無回答	1
	82

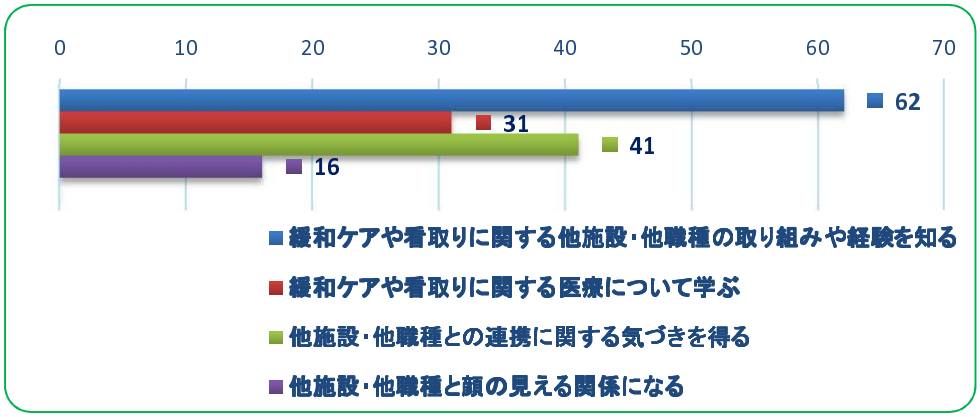


【7. 講義「高齢者のエンド･オブ･ライフケア」は、わかりやすかったですか？】

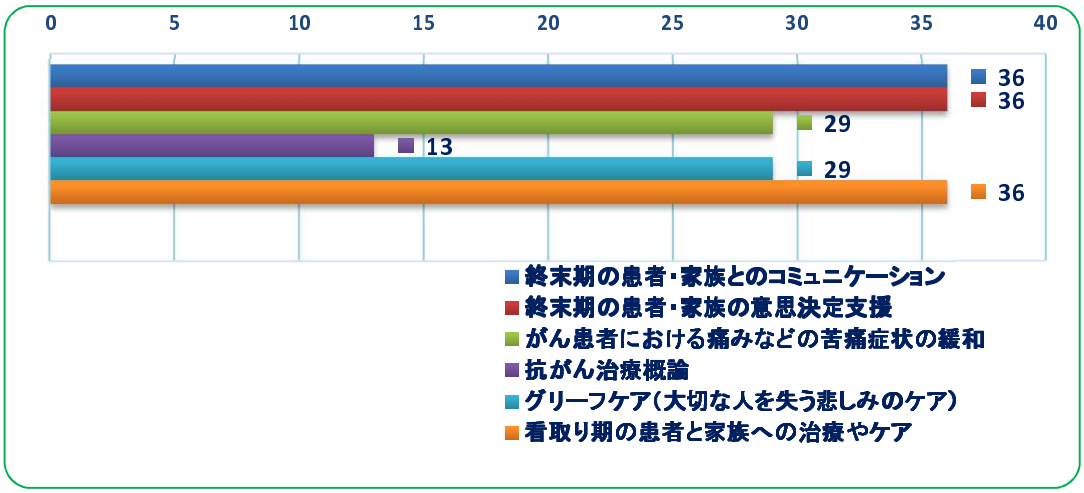
とてもわかりやすかっ	39
分かりやすかった	39
少しわかりにくかった	2
わかりにくかった	0
無回答	2
	82



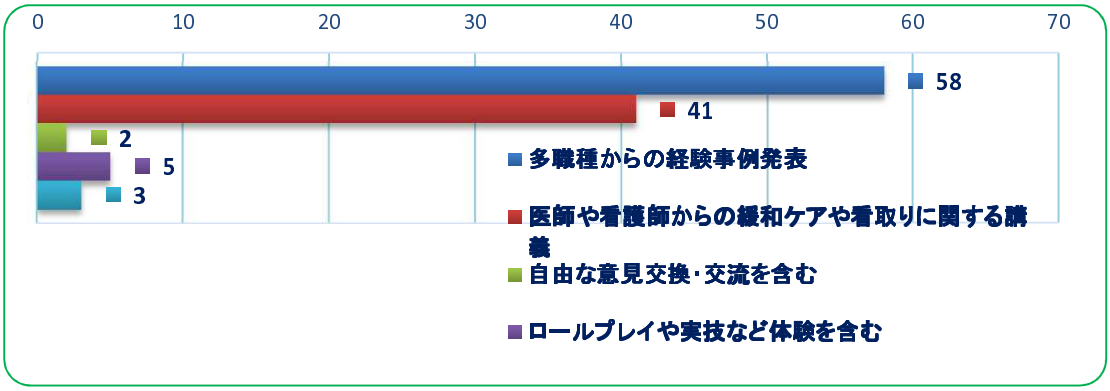
【8.「緩和ケアを学ぼう会」は、あなたにとってどのように役立つと思いますか？】(複数回答有)



【9.「緩和ケアを学ぼう会」の講義内容について、希望する内容を選んでください】(複数回答有)

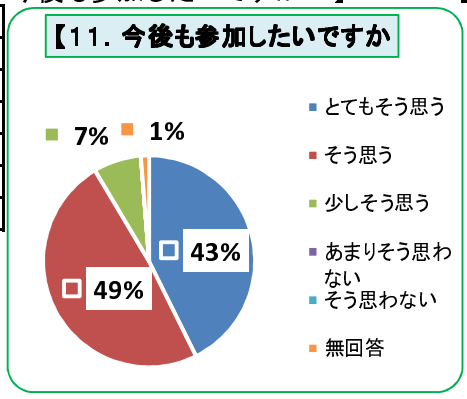


【10.「緩和ケアを学ぼう会」の形式について希望する内容は？】(複数回答有)



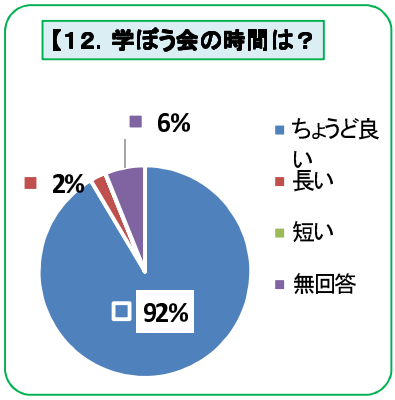
【11. この研修会に今後も参加したいですか？】

とてもそう思う	35
そう思う	40
少しそう思う	6
あまりそう思わな	0
そう思わない	0
無回答	1
	82



【12. 研修会の時間はどうですか？】

丁度良い	75
長い	2
短い	0
無回答	5
	82



❀ご意見･ご感想など自由記述

- とても良い機会を与えていただきありがとうございました。自分よりももっと良い経験を積まれている方がいます。
  広くスポットをあて、情報共有できるようにお願いしたいです。（居宅介護支援事業所　ケアマネ）
- 今後の仕事に対して、あらたな気持ちでのぞもうとと思った。（有料老人ホーム　看護師）
- 認知症のターミナルの利用者、家族への関わり方が難しく意思決定出来ない家族がいました。家族の支援をどうしていったら良いのか次回お願いします。（有料老人ホーム 看護師）
- 仕事と家の事等、なかなか勉強会へ参加出来ていませんでしたが、今日は内容的にとても充実して良かったです。ありがとうございました。（理学療法士）
- 看取りが自宅、病院ではなく施設を含めた様々な流れがあるんだなと改めて感じました。家族として関わるのではなく職員として一人一人に関わる中で本人の気持ちを大切にし、チームとしてコミュニケーションをはかっていく必要があると感じました。職員のフォローアップも大切だと思います。（訪問入浴事業所 介護福祉士）
- 看取りについて、死を迎えるのは特別なことと捉えてしまうのですが、一生のうち誰でも経験することとして、改めて考えることが出来ました。（相談員）
- 各施設の取り組みを知り、関わっているスタッフがどのような気持ちで利用者さんと関わってくれているかわかりました。大変な事例でしたが、きっとみなさんが関わってくれたことで感謝しておられると思います。貴重な経験の発表ありがとうございました。（病院 看護師）
- 資料が見づらいです。わかりにくい留め方です。（有料老人ホーム　介護士）
- 「いつでも戻って来ても大丈夫だから」患者さんが、ご家族にとってとても心強い言葉だと思し、自宅に帰りたい思いを実現するために背中を押してくれる言葉だと思います。（病院 50代女性）
- 若い男性(スーツ男性も)の参加が多く、所属に興味を持ちました。（病院 保健師）
- ひとりひとりの利用者さん、患者さんのために他職種が協力して取り組んでいる事例を知ることができ、とても心強く思いました。ありがとうございました。（医師 病院）
- 今後の仕事に生かせる内容でした。自分の利用者への対する考え方をかえ、行動していきたいと思いました。　（特別養護老人ホーム　介護士）
- 他施設の情報や取り組み等を聞くことが出来て良かったと思いました。（特別養護老人ホーム 介護福祉士）

「緩和ケアを学ぼう会」の様子



ご協力ありがとうございました。≪緩和ケアを学ぼう会グループ≫